

警 察 署 協 議 会 会 議 録

名 称	大 阪 府 住 之 江 警 察 署 協 議 会	
開催日時	令和5年2月21日（火） 午後2時30分から 午後3時35分までの間	
開催場所	大阪府住之江警察署 講堂	
出席者	委員	林会長 澤田委員 油田委員 猪原委員 横山委員 富永委員 越智委員 瀬川委員 松山委員
	警察	署長 副署長 総務課長 留置管理課長 会計課長 生活安全課長 地域課長 刑事課長 交通課長 警備課長 刑事課長代理（犯罪抑止戦略官） 広聴相談係長
議事概要	<p>1 会長あいさつ</p> <p>署員の皆様、警察署協議会委員の皆様、本日はお忙しい中、住之江警察署協議会に御出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>先ほど、警察犬による臭気選別訓練の見学という非常に貴重な体験をさせていただきましたが、私達一般市民が日頃体験することのない高度な訓練を受けた警察犬の姿を拝見させていただき、警察に対する信頼がこれまで以上に強く大きくなりましたことは、警察署協議会委員全員の共通した感想だと思えます。</p> <p>最後になりますが、今年のお正月に、警察官の職務執行を見る機会がありましたので報告させていただきます。</p> <p>取扱内容としては、本来は警察以外の行政機関が取り扱うべき案件だと思われましたが、通報を受けた警察官が現場に臨場し、通報者のために親切丁寧に案件を処理しているのを間近に見ることができて、とても嬉しく思うとともに、警察とは強く、優しく、素晴らしい組織であると感じました。</p> <p>しかし、昨今、警察とは全く関係ない業務あっても、「とりあえず警察に対処してもらおう」という住民が多く、警察官の本来の業務を遂行することに大きな支障をきたしているのではないかと思います。</p> <p>我々、警察署協議会委員は住民の代表として会議に出席していますので、正しい警察業務を知るためにも、積極的に発言をしていただきたいと思います。</p>	

2 署長あいさつ

本日は御多忙のところ、令和5年第1回住之江警察署協議会に御出席いただき誠にありがとうございます。

警察署協議会委員の皆様方におかれましては、平素より警察業務の各般にわたり、御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

会議では、令和4年中の犯罪や交通事故の発生状況等の詳細については担当課長等から説明しますが、住之江区の治安につきましては、重大事件の発生もなく、比較的平穏な1年間でした。

最後になりますが、本日の会議で委員の皆様から忌憚のない御意見をいただき、今後の業務運営に反映させていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

3 住之江区内の治安情勢について（令和4年12月末現在）

- (1) 犯罪発生状況 ～刑事課長代理～
- (2) 大阪重点犯罪認知件数 ～刑事課長代理～
- (3) 特殊詐欺事件の発生状況等 ～刑事課長代理～
- (4) 交通事故発生状況 ～交通課長～
- (5) 交通死亡事故発生状況 ～交通課長～

4 警察による自転車安全対策

交通課長がパワーポイントを使用し、説明

5 質疑応答

歩車分離式信号機への変更要望

【委員】

以前、警察署協議会が文書開催された時に、住之江署交通課へ要望したことで同一内容ですが、大阪出入国在留管理局前の交差点はトラック等の大型車両の通行がとて多く、大阪府咲洲庁舎方向に向けて右折、若しくは舞洲トンネルに向けて左折する際に、歩行者が車両に巻き込まれるなどして大事故に繋がる危険性があると思われまので、歩車分離式信号機に変更していただきたいです。

【交通課長】

交通量調査を実施した結果、ニュートラムや大阪メトロの利用状況に伴い、コスモスクエア駅から当該交差点を横断する歩行者の数が比較的多く見られました。

道路管理者に確認したところ、当該交差点の上空通路が令和5年度中に完成が予定されているとのことであり、近い将来、車両と歩行者が物理的に交錯する危険性がなくなりますので、歩車分離式信号機を導入する必要性は低いものと考えます。

しかし、委員御指摘のとおり、南港地区においては、日常的に大型

車両の通行が多いことから、横断歩行者の安全を確保するために、同交差点における歩行者の保護誘導活動や、信号無視、歩行者妨害等の重大事故に直結するおそれのある交通違反の取締りを引き続き強化して参ります。

【委員】

分かりました。

住之江署の交通課員が要望に対し、とても迅速に対応していただいたことに、本当に感謝しております。

今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

6 会長の退任の挨拶

警察官の不祥事が続いておりますが、幹部の皆様がしっかり指導していただいて、住之江警察署からは絶対に不祥事を出さないように、よろしく願いします。

また、委員の皆様方の御多幸と御健勝を心からお祈り申し上げ、簡単措辞ではございますが、私の退任の挨拶とさせていただきます。